

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 265 2016.3.23 連絡先 402-1622 >



2月定例会閉会 一般会計予算など15件(全62件中)に反対

3月23日、本会議最終日に議案の採決が行われました。日本共産党市議団は全62件のうち15件について反対しました。南畑議員が行った討論の一部を紹介します。

議案第46号一般会計予算には、多くの市民が実現を求めてきた子どもの医療費の中学校卒業までの通院費無料化の予算や、市民生活や教育に関わる予算、職員の人件費など、必要なものが多く含まれており、すべてに反対ということではありません。しかし、問題点があるため賛成できません。たとえば、市街地再開発事業はどのように市民の生活に役立つのかについては明確な答えがなく、そのような姿勢で事業をすすめてよいのか疑問であること。また、特定地域に限定した子ども会活動支援交付金は、現在根拠となる法律はなく、事業の在り方を見直すよう求めてきましたが変更されません。加えて3年以上執行されていない予算があるにも関わらず、漫然と同額を計上していることはこの事業を聖域化していることを象徴的に表しており、到底認められないこと。などです。

議案第82号は、開発行為に関する条例改正で、農用地を守るという目的で規制を強めようとするものです。そもそも規制を緩和し郊外へ広げてきた責任は市にあります。農業政策も乏しく抜本的な対策が示されません。まず、農業政策を示すべきだと考えます。

議案第102号は、保育士配置の基準を緩和する特別措置を設けるものです。待機児童がなくなるまでなど期間限定ではあるものの、安心安全の保育環境を提供するには、資格をもつ保育士が保育を行うべきです。また、保育士不足の要因は、労働条件の悪さによるものであり、その改善にこそ取り組む必要があると考えます。

他の12件についても理由を述べ、反対しました。



今年も二の丸でア
コーデオンを弾か
せていただきます。
お花見を楽しめる世
の中をいつまでも。



花見などけしからん!ということだつ
たのでしよう。

みち子のひとりごと

春に

「さくらさくら やよい
の空は 見わたす限り か
すみか雲か 匂いぞいずる
いざやいざや 見にゆか
ん」日本人なら誰もが歌え
る「さくらさくら」明治2
1年に作られた歌です。こ
の歌も、昭和16年には

「さくらさくら 野山も里
朝日ににおう さくらさくら 花ざ
かり」と変えられています。戦時に
花見などけしからん!ということだつ
たのでしよう。

私の春は「x日、空いてるかな?」
と聞かれることから始まります。お
花見をするのでアコーデオンをもつ
てきて伴奏してほしいという話です。
それでも議会中は、頭のなかは議
会でいっぱい、春を感じる余裕はあ
りません。そして議会終了。気がつ
けば世の中は「開花宣言!」とにぎ
やかなこと。
どうして桜が咲くと嬉しくなるの
でしょうか。花を見に行きたくなる
のでしょうか。

坂口多美子です

先日、卒園式から帰る親子を車窓から見ました。飛び跳ねるように歩く子どもの姿に、来月の入学式を楽しみにしているだろうなと思うと私まで嬉しくなりました。同時に、子どもたちの明るい将来をしつかり守りたいとも思いました。

入学式を迎えるとたくさんのお用品の準備が必要です。中学になると制服やカバンなど9万円ほどに、払えなくて入学式に來れない子どももいると聞きました。

「後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続に関する請願」

市社会保障推進協議会提出の請願については、日本共産党議員5名が紹介議員となり、松坂が賛成討論を行いました。不採択となりました。以下、討論を紹介します。

この請願は、政府が保険料軽減特例を段階的に縮小し、2017(平成29)年度には廃止することを計画していることから、保険料軽減特例を継続するよう、政府に意見書を提出することを求めるものです。

後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を別枠の保険制度に強制的に移行させる制度です。それまで家族の扶養となっていた方にも、また無年金であっても、保険料の負担を求めています。その負担を軽減するために行われてきた制度がなくなれば、保険料が2倍から3倍になる、さらに元々扶養家族だった方は5倍から10倍にもなるとされています。

今、高齢者にとっては、年金が目減りしたうえに社会保障の負担も増えています。さらに、保険料の実質引き上げで、払いたくても払えない人が増えて医療から遠ざけられてしまうだけでなく、暮らしそのものが脅かされるのは、火を見るより明らかではないでしょうか。

高齢者のいのちと暮らしを守るために、ぜひとも、当請願の趣旨をくみ取っていただき、賛同をお願いいたします。



日本は、国内総生産に占める教育機関への公的支出はたった3.5%、OECD加盟国32か国中、最下位です。世界3位の経済大国にも関わらず子どもに費やす予算が少なすぎます。

憲法26条2項では「義務教育はこれを無償とする」とあります。憲法を守つて政治をするというあたりまえの社会つくつていきたいと思いません。

これを無償とする」とあります。憲法を守つて政治をするというあたりまえの社会つくつていきたいと思いません。

これを無償とする」とあります。憲法を守つて政治をするというあたりまえの社会つくつていきたいと思いません。



2月定例会での反対議案

- 議案第46号 一般会計予算
- 議案第47号 国民健康保険特別会計予算
- 議案第49号 土地造成事業特別会計予算
- 議案第51号 住宅改修資金貸付事業特別会計予算
- 議案第52号 住宅新築資金貸付事業特別会計予算
- 議案第53号 宅地取得資金貸付事業特別会計予算
- 議案第54号 駐車場管理事業特別会計予算
- 議案第55号 下水道事業特別会計予算
- 議案第59号 介護保険事業特別会計予算
- 議案第60号 後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第62号 水道事業会計予算
- 議案第63号 工業用水道事業会計予算
- 議案第82号 開発行為等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第86号 農業委員会の委員の定数を定める条例の制定について
- 議案第102号 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例